

令和3年度学校施設の改築事前調査校について

1 事前調査の必要性

(1) 工期短縮に向けた工事手法の検討

工期を短縮することにより、教育環境及び近隣への影響を最小限に抑えるとともに、工事コストの縮減を図る。

(2) 実現性の高い基本構想・基本計画の策定

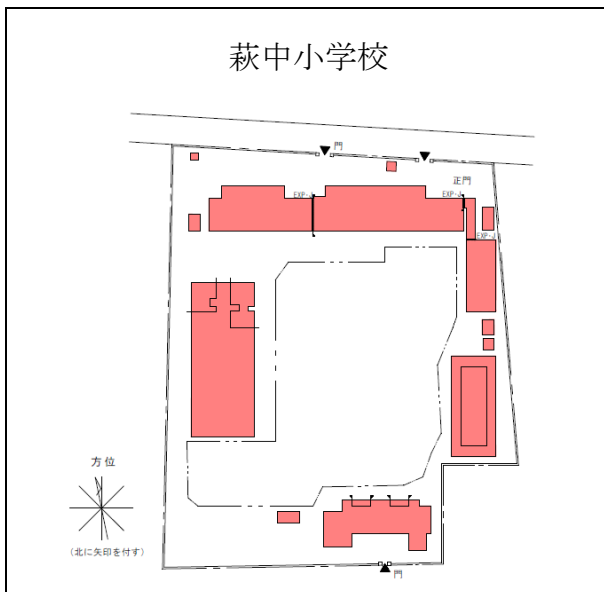
改築計画着手前に、改築に係る課題を明確化し、基本構想・基本計画の内容充実を図る。

2 令和3年度改築事前調査校

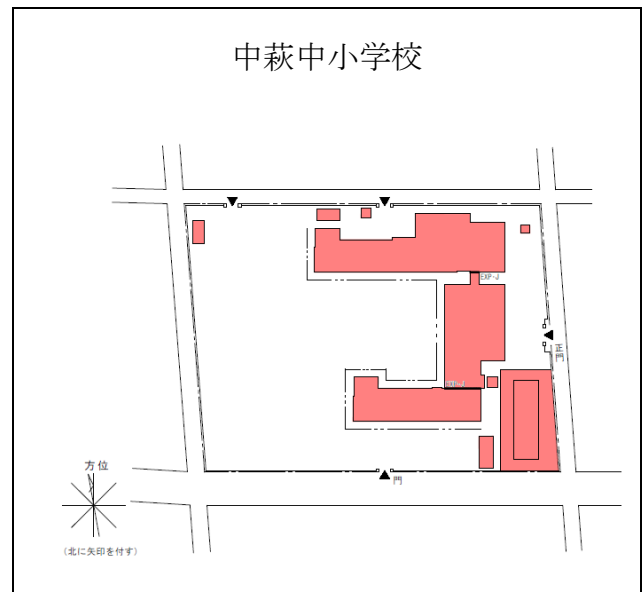
(1) 萩中小学校（本羽田三丁目4番22号）

(2) 中萩中小学校（萩中二丁目14番1号）

3 各校の配置図及び概要



所在地	本羽田三丁目4番22号
敷地面積	14,420 m ²
既存校舎等の延床面積	5,398 m ²
既存校舎構造	鉄筋コンクリート造3階建
令和2年度児童数	263人（12学級）



所在地	萩中二丁目14番1号
敷地面積	9,126 m ²
既存校舎等の延床面積	6,357 m ²
既存校舎構造	鉄筋コンクリート造4階建
令和2年度児童数	428人（13学級）

4 周辺地図



<参考>

学校改築事業の流れ

事前調査 → 基本構想・基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 改築工事